

かわらばんひとくらし

令和三年（2021年）
5月号 Vol.19
水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構
一庫ダム管理所

今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

4月の月雨量（ダム流域平均雨量）は158.3mmで、
 平年110.5mmに対し
 約143%の雨量でした。

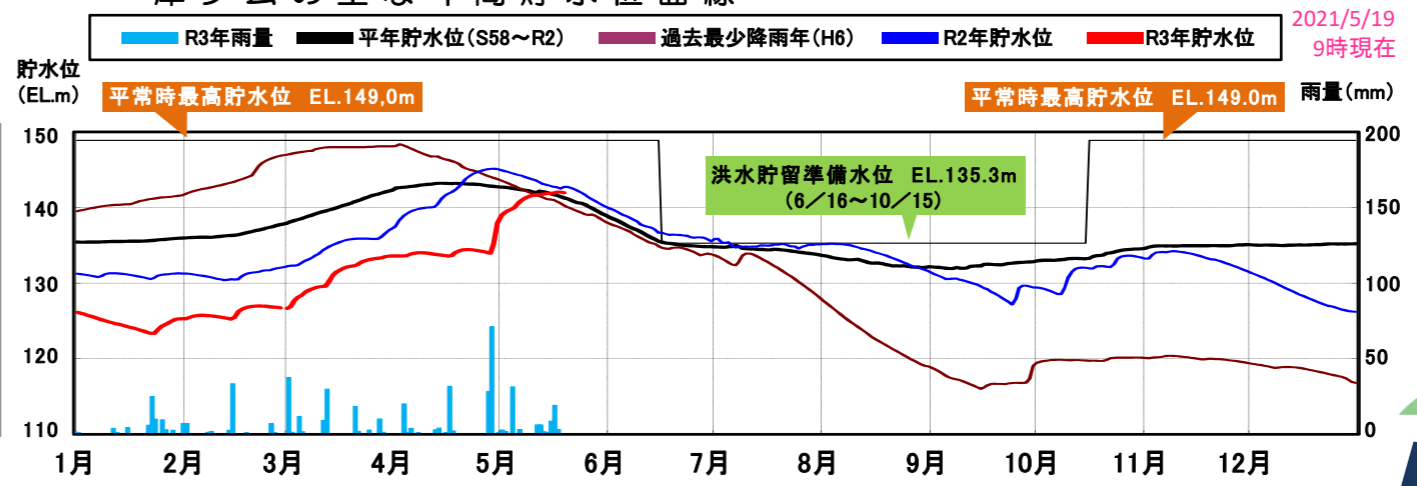
一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生（むしゅう）へ15日間、約67万³mを補給しました。

5月19日現在の貯水率は約71.8%です。

貯水池の状況 (R3.5.19撮影)

貯水位
EL. 142.03m

一庫ダムの主な年間貯水位曲線



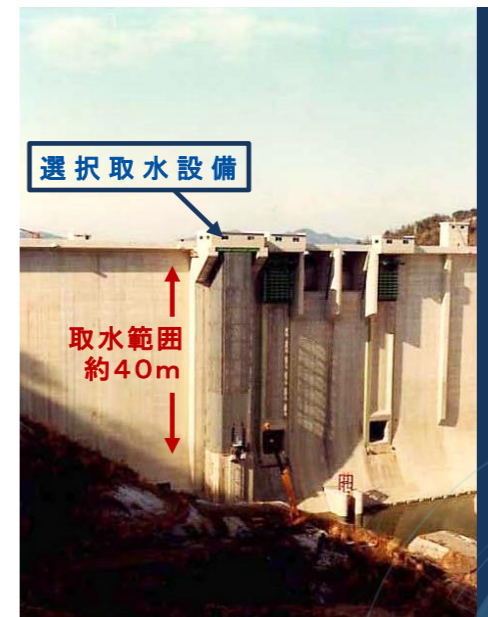
ツイッターでも情報をお知らせをいち早く発信しています！
@iwa_hitokura



Topics

一庫ダムの放流設備

選択取水設備のあれこれ



建設中の一庫ダム堤体を貯水池側から見た写真です。今では見ることでできない貴重な一枚です。



周りはスクリーンで囲われています。こちらの写真は現在の様子。

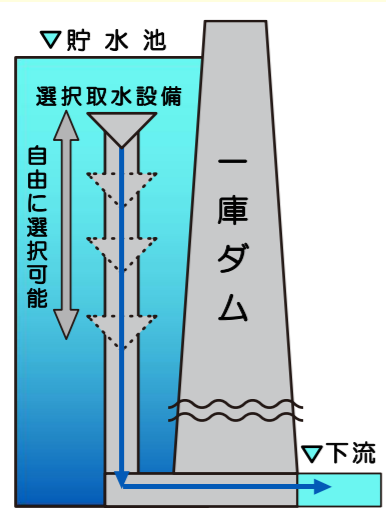
ダム湖の水は表面・中層・底層で水温や濁度などの水質状況が異なります。必要に応じて水を取る深さを変えて、その時の目的に応じた深さの水を取ることを「**選択取水**」といいます。

一庫ダムの選択取水設備

一庫ダムにも、この選択取水設備があるので、普段から水質等の良い深さの水を取り出してダムの下流に流しています。今回はこの選択取水設備についての特集です。

選択取水設備といっても、その形状はさまざまあります。一庫ダムのような円形の筒が重なった「円形多段式（えんけいただんしき）」以外にも「直線多段式、半円多段式、多孔式（斜樋しゃひ）、連続サイフォン式」など複数あります。一庫ダムでは取り入れる水の量がそれほど多くないことや、水密（水が漏れない）の性能が良いこと、建設コストが安くなるなどの理由で「円形多段式」を採用しました。

【スクリーン内部】



一番水質の良い深さを選んで下流に放流できる、「**選択取水設備**」



一庫ダムの利水放流設備はこちらで紹介しています！
（R2.2月号版へ）

興味のある方はその他の選択取水設備を調べてみてはいかがでしょう？
あなたもダムマニア！・・・かも？



一庫ダムのダムカードはただいま配布をお休みしています。再開の際にはまたお知らせいたします。

一庫ダムでは地域の方々との協力しながら15年以上エドヒガンの植樹や保全活動を行ってきました。これまでの保全活動等が評価され、ダム右岸の斜面上部に自生するエドヒガン(6個体)と隣接地が「一庫字唐松エドヒガン群落」として令和3年4月22日に川西市の天然記念物に指定されました。

地域の大切な宝であるこの貴重なエドヒガンを今後もダム職員一丸となって大切に守ってまいります。

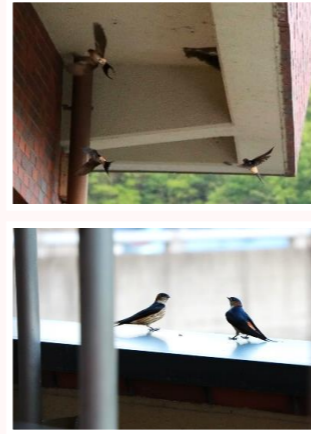
エドヒガンはソメイヨシノの母種としても有名な桜の一種で、エドヒガンの群落は兵庫県レッドリターブックのBランクに指定されている貴重な植物です。



エドヒガン文化財指定の現地視察状況 (R3.3.19)

文化財指定に向けて大変なご尽力を頂きました服部保先生(兵庫県立大学名誉教授)を始め、ご協力を頂いた関係者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

▼コシアカツバメに今年も会えました



コシアカツバメが今年も一庫ダムにやってきました。ダムや管理所の周りを飛び回っています。今はまだ子育てをしている様子はありませんが、もう少ししたら、ヒナの元気な鳴き声が聞こえてくると思います。

今年も職員一同、温かく見守りたいと思います。

ツバメの生態学①

ツバメの特徴で印象的な、尾羽が長い独特の「燕尾(えんび)」が特徴です。ツバメの仲間全種が持つわけではなく、他の鳥には滅多に見られないことから、特別な理由があると考えられています。飛翔性能もありませんがメスへのアピールするための見栄えが有力視されています。

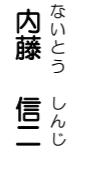


尾羽に白い模様があることで尾羽が長く見える。

職員の異動



湯本 洋 (総務班 所長代理) 「転入」



内藤 信二 (管理班 所長代理)



鈴木 弘一 (管理班) 「転入」



中田 丈裕 (管理班) 「転入」



中田 丈裕 (管理班) 「転入」

4月1日付で所長代理として赴任いたしました湯本と申します。一庫ダムの魅力を多くの方にお届けし、身近に感じてもらうように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

4月1日付で所長代理(技術)を拝命しました内藤信です。一庫ダムが地域の安心・安全の要となり、さらに愛されるダムとなるよう引き続き適切なダム管理に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

ダム管理は13年ぶり、その間、操作方法等いろいろ変化がありました。冷静な心掛け、的確なダム管理をしていきます。

4月より赴任しました、電気通信担当の中田と申します。設備の維持管理を中心にダムの運用をしっかり行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

訓練・活動報告

▼船の操作訓練

ダムの船はどんな時につかうの?と疑問に思っている方にご紹介です。一庫ダムには2艇の船があります。普段は知明湖(ダム湖)に異常がないかを見回る巡視や、ダム湖の水質を調査する時に使ったりします。それ以外では、ときどき魚類調査のための網を設置したり、出水のあとに貯水池に流れ込んできたゴミなどを回収する時に使ったりと大活躍しています。



船上からのダム湖を見たい方はこちらの動画をどうぞ!



▼河川の巡視・警報訓練

ダムのゲートから水を流す前には、必ず川沿いにある警報局舎でスピーカーやサイレンを鳴らしたり、警報車で河川の巡視を行って、川の中で遊んでいる人などがいないかどうか安全確認を行います。今回は、雨が多くなる時期を前に河川の巡視を行う時のルートや重点ポイントの確認、警報局舎に異常があった時の対処方法などについて訓練を行いました。



▼高水操作勉強会

ダムの役割のひとつ、「治水」の要(かなめ)となる洪水調節や異常洪水時防災操作について、確実な操作ができるよう、職員向けに勉強会を実施しました。洪水期までに勉強会を複数回開催し、職員の技術向上を図ります。



高水操作については、昨年5月7月の「かわらばんひとくら」にて3回シリーズでご紹介しました。是非、ご覧ください!



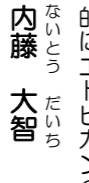
一庫ダムの広報誌ページへアクセス!



よろしくお願いたします!!



牧野 天空水 (総務班) 「転入」



内藤 大智 (管理班) 「新規採用職員」

4月1日で入社し、一庫ダム配属となりました内藤と申します。新社会人なのでわからないことだらけではありますが、ダム管理について学びつつ、社会人として成長していきたいと思っております。

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所
 〒666-0153
 兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1
 TEL:072-794-6671
 FAX:072-794-0590
 一庫ダムHP



キビタキ

妙見の森にはフナ群落やエドヒガンの小径から台場クヌギの小径へと続く散策コースがあります。訪れたのは4月末で残念ながら桜は散っていました。足元には桜の花びら、見上げればフナの新緑を見ることができました。たくさん野鳥も



生息しているようで、運よくキビタキが近くで鳴いてくれました。



妙見の森は、春は桜、初夏にはアジサイ、秋には紅葉と四季を通して美しい景観を楽しむことができます。そんな妙見の森を4月に赴任した総務班・湯本が散策してきました。

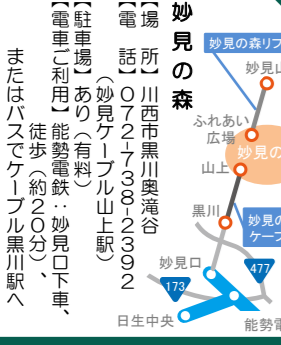


写真:総務班・湯本撮影日 (R 3. 4. 24)